

鳴門教育大学（８） 歌唱実技アプローチによる教材研究の方法と応用

1 目的

歌唱実技演習および教材研究演習を通して、音楽科の授業構成員、実践力の向上を図る。
徳島教育大綱及び徳島県教育振興計画（第4期）との関連について
重点項目Ⅴ－推進項目15－⑩教員の安定的な確保と資質向上に向けた取組
【関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目】

○授業力・学習指導「B 授業構想力」「C 授業実践力」「D 授業省察力・改善

力」

2 主催

鳴門教育大学、徳島県教育委員会

3 期日

令和7年7月30日（水）

4 受付及び会場

鳴門教育大学 共通研究D棟 4階 D401

5 対象者

- (1) 職種 教職員
- (2) 校種 小・中・高・中等・特
- (3) 定員 15名

6 内容

- (1) 歌唱実技アプローチによる作品の魅力探究に関する実技
- (2) 歌唱実技をふまえた教材研究の方法に関する講義
- (3) 歌唱技能を考慮した授業展開の可能性についての協議

7 講師

鳴門教育大学 高度学校教育実践専攻 音楽科教育コース 教授 鉄口 真理子
鳴門教育大学 高度学校教育実践専攻 音楽科教育コース 講師 小島 芙美子

8 日程

- | | |
|-------------|--|
| 9:30～9:50 | 受付（共通研究D棟 4階 D401） |
| 9:50～10:00 | 開会、イントロダクション |
| 10:00～12:00 | 実技「歌唱実技アプローチによる作品の魅力探究」
内容 歌唱および指導を通して音楽作品の良さ、面白さを体感する。 |
| 12:00～13:00 | 昼食 |
| 13:00～14:30 | 講義「歌唱実技をふまえた教材研究の方法」
内容 歌唱実技や楽譜等の分析、楽曲の背景をふまえた教材研究 |

の方法を知る。

- | | |
|-------------|--|
| 14:40～15:50 | 協議「歌唱技能を考慮した授業展開の可能性」
内容 校種に分かれ、授業づくりについてグループ協議を行う。 |
| 15:50～16:00 | リフレクション、閉会 |

9 準備物

- ・筆記用具等（署名ができるボールペン等を準備してください。）
- ・当該校種の学習指導要領音楽編及び使用中の教科書や興味のある歌唱教材曲の楽譜があればお持ちください。

10 その他

- (1) 本講座で実技課題とする曲目は、申し込み者に事前連絡する予定です。
- (2) やむを得ず欠席する場合は、あらかじめ管理職（緊急の場合は本人）が担当者まで電話連絡し、管理職は、速やかに欠席届をメールに添付して提出してください。送付は、学校代表メールアドレスもしくは管理職のメールアドレスから行うようにしてください。欠席届の様式は、Plantの該当研修のページ又は、総合教育センターのWebサイト（令和7年度研修講座一覧「とくしま教職員研修」33ページを参照）からダウンロードできます。

送付先

【教諭、栄養教諭、学校栄養職員】徳島県立総合教育センター教職員研修課
kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp

【養護教諭】徳島県教育委員会体育健康安全課

taiikukenkoanzen@pref.tokushima.lg.jp（県立校からJoruriメールでの送信

時に使用）

taiikukenkoanzen@g.tokushima-ec.ed.jp（上記以外に使用）

- (3) 研修当日、出発地又は研修会場までの経路を含む地域に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表されたことにより旅程に支障がでる場合は、管理職を通して電話連絡してください。欠席の場合は(2)の手順に従ってください。

- (4) 服装は、研修にふさわしい服装で参加してください。5月～10月に実施する研修についてはエコスタイル（夏はノー上着・ノーネクタイ等）で結構です。

- (5) 研修当日、午前7時の時点で研修会場を含む地域（鳴門教育大学の場合は「鳴門市」地域）に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止しま

す。後日、振り替えて実施することはありません。

(6) 昼食は、近辺でとるか、各自で御用意ください。大学食堂も御利用いただけます。

(7) 本研修講座は、ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

《担当者》 教職員研修課 宮城 久子 088-672-6419